

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：03-5253-8111 内線42353

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年5月10日

リコール届出番号	1879	リコール開始日	平成19年5月11日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 梶川 隆		問い合わせ先：お客様相談室 0120-090-819
不具合の部位（部品名）	①燃料装置（燃料ポンプのシール） ②燃料装置（燃料ポンプ） ③原動機（カムチェーンテンショナー） ④動力伝達装置（クラッチキャリア）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①燃料タンクにおいて、燃料ポンプ取付部のシールの材質が不適切なため、オゾン劣化により当該シールに亀裂が生じるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、燃料満タン時にポンプ取付部から燃料が漏れるおそれがある。 ②燃料タンクにおいて、燃料ポンプに至る電気配線の防水性が不適切なため、電気配線に入った水が当該ポンプのカプラ内に浸入することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、端子が腐食して折損し、燃料ポンプが作動しなくなり、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。 ③原動機のカムチェーンテンショナーにおいて、原動機の冷却性能が高すぎるため、ブローバイ中の水分が当該テンショナー内部に結露し、テンショナーが錆びて固着することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、カムチェーンが振れて異音が発生し、最悪の場合、当該チェーンが外れてエンジンが停止し、再始動できなくなるおそれがある。 ④教習車仕様の車両において、教習時にブレーキをかけながらスロットルを開ける操作が頻繁に行なわれるため、クラッチキャリアがクラッチハウジングと滑りながら接触することから、摩擦により異常発熱して、クラッチキャリアが早期に摩耗するおそれがある。		
改善措置の内容	①全車両、燃料ポンプ取付部のシールを対策品と交換する。（ニトリル系からフッ素系に変更する。） ②全車両、水抜き機能を有するカプラ付サブハーネスを追加する。 また、燃料ポンプのカプラ内の端子を点検し、錆びているものは、燃料ポンプを新品と交換する。 ③全車両、防錆処理を施したカムチェーンテンショナーと交換する。 ④全車両、2次減速機の歯車を対策品と交換し、2次減速比を高くする。		
不具合件数	①11件 ②10件 ③25件 ④23件	事故の有無	なし
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo.1879のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	BA-SG17J	マグザム CP250	SG17J-000048～SG17J-018189 平成17年3月9日～平成19年3月30日	18,140台	①②
	BA-SG15J	グラントマジェスティ YP250G	SG15J-000034～SG15J-016209 平成16年2月6日～平成19年2月23日	16,170台	①②③
	BC-SH04J	グラントマジェスティ YP400G	SH04J-000018～SH04J-004081 平成17年2月9日～平成19年3月28日	3,762台	①②
		グラントマジェスティ YP400L	SH04J-000998～SH04J-001397 平成17年4月12日～平成17年5月12日	298台	①②④
	BC-SJ04J	XP500 TMAX	SJ04J-000013～SJ04J-003416 平成16年8月3日～平成19年3月23日	3,400台	①
	JBH-SA31J	VOX XF50	SA31J-100101～SA31J-109514 平成18年3月8日～平成18年9月2日	9,414台	①
			SA31J-160101～SA31J-161684 平成19年1月12日～平成19年4月9日	1,584台	
SA31J-180101～SA31J-181636 平成19年1月12日～平成19年4月10日			1,536台		
	(計5型式)	(計6車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年2月6日～平成19年4月10日	(計54,304台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。